菊一靴店
平市三丁目T446

銘菓 平餅 松月堂
最高の品質
最低の価格
優秀な技術

三和新報
THE SANWASHIMPO

4月24日（火曜日）

第604号　昭和29年6月17日第三種郵便物認可
日刊　日曜・祝・祭日を除く　購読料1ケ月50円

発行所
三和新報社
平市田町
電話1053

御店の手となり口となつて働く
宣伝物
チラシ・包装紙店内装飾・看板
など御相談下さい
内郷・湯本沿線看板請負
TS商業美術研究所
平市鎌田（平二中裏）

會長に渡辺氏（磐城）
平地区青申會發足

平地区青色申告協会結成会は二十三日午後、平市公会堂日本間に平磐城、常磐、内郷、勿来、四倉、好間の各青色協会代表および来賓など百七十名が集つて開き、会則を決めた。

▽全国青色申告会総連合会並に東北青色申告連合会、県青色申告連合会に加入、連絡▽平税務署管内各青色申告会と緊密なる連絡を計り税理経営に関し指導啓発宣伝に協力する▽税務経理経営に関し調査研究を行い資料を収集し、その情報を提供する▽青色申告者としての意見を公表し議会又は行政庁に建議、又は具申する。そのほか必要な事業を行うなど本年度の事業計画を決め次の役員を選出した

▽会長渡辺清匡（磐城）▽副会長 野沢武蔵（平）恵原猪和男（内郷）飯淵繁三郎（常磐）▽常任理事 森永吉郎（好間）吉田清助（四倉）▽会計理事 高野光一（磐城）▽理事 坂井清之助（平）太田原正（常磐）高原庄太郎（内郷）飛田清吉（好間）飯塚新治（勿来）川幡緑治（勿来）新妻常吉（四倉）▽監事 水竹正勝（平）鈴木林平（勿来）

愛慾の人妻流轉
捨てられて半死半生

戦死した夫の愛児をふりすてて情夫とかけおちした女が情夫に捨てられ二人の子を抱え路頭に迷い常磐市までさまよつてきたが病魔におかされ福祉事務所の保護をうけ栄養失調にかかつていた子供二人は児童相談所にひきわたされたという哀話がある。この女は盛岡市豊田町六七生れ住所不定無職渡辺ウメノさん（ヨ）で二十三年ころ夫の戦死の公報が入つてから情夫をつくつて愛児を捨てあつちこつち転々しているうちに二人の子供が生れたがこんどは情夫に逃げられ昨年十一月ころ内郷市に流れてきたが病気のため働くこともできず食うや食わずの生活をつづけてきたが二十日職を求めて常磐市まで歩いてきたところ胃潰瘍のため倒れ福祉事務所に保護されたもので骨と皮ばかりになつていた二人の子供は児童相談所におくられた。

六〇〇▽平窪六、九三〇▽中塩三、〇七〇▽四ツ波一、五一〇▽幕・鯨・大二、八八〇▽鉄宮二、五八〇▽弥宮町、正月町七、五五〇▽神谷三七、九四〇▽飯野三八、九八〇▽磐間四二、九二〇▽草野四二、七五〇▽夏井二七、二〇〇▽高久三一、三四〇▽赤井三六、三一〇。

日赤募金割
当協議

平市福祉事務所では二十四日、各支所長を招いて五月から行われる日赤募金および常葉町の大火見舞金の供出方法について協議。明二十五日は市内の民生委員会議を開いてこの問題について協議するが割当額五十九万円の日赤募金 各町内割当予定は次の通り。

▽長橋町九、三三〇▽研町一〇、一六〇▽紺屋町八、三一〇▽田町二〇、三三〇▽一丁目九、二七〇▽二丁目一三 七七〇▽三丁目一三、〇四〇▽四丁目一〇、五七〇▽五丁目一〇、八〇〇▽新川町一〇、〇〇〇▽材木町一五、六三〇

坊や井戸に転落死亡

内郷市宮町農鈴木勇さん五男喜美男ちやん（三）は二十三日正午ころ自宅近附の井戸に落ちて死んだ。

小松履物店に
万引代千二百円舞込む

二月の中旬ころキリストの教へをうけて目がさめた、と万引代金を送つてくる女性が現われて話題をまいたが、二十三日の午後、平市三十メートル道路小松履物店に千二百円と一通の手紙が舞込んだ。文面は〝私はいま生長の家の教へをうけ、クリスチャンのお友達と交際しているうち、たしか終戦後四年くらいの時、あなた様のお店から万引した履物のことが頭にうかび、夜も眠れない毎日が続きました。直接お伺いしてお詫するのが本当ですが勇気がありませんので郵送で私の罪をお許し下さい〟とあり、同店では二十四日市の福祉事務所を訪れ〝この金はなかつたものと思い困つている人にあげて下さい〟と寄附した。

来月中旬結成大会
原水禁止石城協会

原水爆禁止石城地方協議会準備会はこのほど開き、近く講演会、映画会など教宣活動を行つて来月中旬に結成大会を開くことを決めたなお同協議会の会長には大泉平市議会議長、副会長は常磐、磐城、内郷の各市会議長、事務局長は草野平商工会議所専務理事と内定した。

二月の酒類庫出し漸落
昨年同期より二、九パーセント減

荷だつたのが昨年も二千三百二石で〇・九六パーセントと漸落ぶりである。品目別にみると清酒が昨年八百十五石だつたのが今年は六百八十九石、合成酒も五百四十六石が百五十七石、焼酎四百七十八石が二百四十六石、ビール三百八十四石が百四十三石である。

今年の三月の庫出しが減つた原因は今年の一月、二月の庫出し、卸し分の売れ行きが悪く三月に繰越されたものとみられている。

お花見シーズンの需要を目指して三月中に庫出しされた（卸しも含む）平税務署管内の酒類は全部で一千二百五十八石で前年同月より三、九パーセント減つた。一昨年三月は二千三百九十石をこえる出荷だつたのが昨年も二千三百二石で〇・九六パーセントと漸落ぶりである。品目別にみると清酒が昨年八百十五石だつたのが今年は六百八十九石、合成酒も五百四十六石が百五十七石、焼酎四百七十八

常磐公営住宅入居メ切る

常磐市役所ではこのほど落成した公営、市営住宅の入居申込を受付けていたがこのほどメ切つた。抽せん会は今月末行われる予定

▽吹谷地区アパート二戸に対し十人、第二種簡易耐火構造小家族向八戸に対し二十二人▽藤原地区十二戸に対し十五人

理髪料六十円也
常磐に組合理髪所

常磐炭鉱生活協同組合（組合長磯野清治氏）で御殿地内に建設中だつた理髪所がこのほど完成、ヤマの人気を集めている。この理髪所は総工費二百六十万円、木造平屋建モルタルの立派なもので建坪は二十五坪。中には五台のイスがあり組合員にかぎり洗髪ポマード仕上げが六十円というサービス。同生協ではこのほか全山の各鉱に同じような理髪所を新築する計画で自給自足の実を着々としてあげている。

矢吹氏ら受彰
常磐消防検閲

常磐市消防団の春季検閲は二十二日午前八時から湯本一小校庭で行われたが席上次の防火功労者の表彰を次の通り行つた。

【県知事賞】◇精勤賞 矢吹庄一郎 ◇永年勤続賞 熊田留寿【日本消防協会長賞】◇精勤賞 大楽源俱【消防協会常支部長賞】◇功績賞 八木田健◇精勤賞 吉田光善、大井川精一、松本常一、工藤国雄、鈴木篤高木久治、鈴木義衛、片寄十七三郎

なお常磐市消防団の民間防火協力者の表彰は次の通り

小野仁平、櫛田シゲ、滝マサエ、櫛田ツタ子、若松利幸、藤原カメ 白峰電造 月館栄一、松本幸、安斎正、物部助次郎、武藤力男、吉田歌子、織内久、吉田五郎、佐藤留吉 橋本チヨノ、佐藤光雄、伊藤武雄 岡部ナツ、大井川正 鹿島変電所 上仲町少年一同。

三月の酒類庫出し漸落
昨年同期より二、九パーセント減

（前掲）

常磐公営住宅入居メ切る

（前掲）

理髪料六十円也
常磐に組合理髪所

（前掲）

矢吹氏ら受彰
常磐消防検閲

（前掲）

国鉄労記念演芸
五月一日平市で

国鉄労組水戸地方本部では五月一日午後一時から平市公会堂で十周年記念祭を開き加藤委員長の挨拶水鉄楽団の演奏会、水鉄劇団の「蟻」上映、その他映画などを行う入場無料。

平一中でマラソン大会

平一中では五月四日の創立十周年記念日に校内マラソン大会を開く。コースは旧市内一周で男子五キロ、女子二キロ。

28日、たばこ耕作者表彰式

日本専売公社平出張所の三十年度産たばこ耕作者表彰式は二十八日午後一時から同所で行う。

人事

古河好間鉱業所長市川雄吾氏はこのほど着任。

天気予報

【今晩】北の風晴。海上は風波が高いでしよう。

【明日】北の風晴時々曇。海上は次第におさまるでしよう。

磐城公使会で役員改選

磐城市役所内の小使さんたちの会「公使会」がこのほど役員改選を行つた。会長に岡部政吉（渡辺支所）副会長に小野和平（市役所）

のど自慢優勝者

常磐市の「さくら祭り」に温泉神社で行つたのど自慢大会の入賞者が次のように決つた。

①高橋清（常磐炭鉱）②佐藤幸一（天王崎）③渡辺光平（台の山）

移転お知らせ

此の度平商工会館新築落成に伴いまして四月二十五日に新館に移転致します右お知らせ致します

新住所　平市字菱川町二七
電話三一九・二〇六〇番
平商工会議所
平地方中小企業相談所
福島縣信用保証協会平支部

祝 小名浜開港

横浜税関小名浜出張所開設

磐城市役所
市長 立花吉秀
助役 中田善三郎
収入役 吉田善八

磐城市議会
議長 瀬尾義彰
副議長 江尻郷清
事務局長 加瀬清

県議会議員 土木委員長 小野義一

県議会議員 會田亮

小名浜港務所
所長 武藤一左久

運輸省 小名濱港工事事務所
所長 伊藤甫

小名浜漁業協同組合
組合長 三代義勝

小名浜臨港鐵道 株式会社
取締役社長 浦田文二郎

株式会社 日星製作所
取締役社長 中崎馨

三洋海運株式会社 小名浜出張所
所長 石川清

躍進する常磐商議所

會員全商店の八十五%

常磐商工会議所が設立されてから一年余になるが零細企業者の入会が多くヤマと温泉の街という特殊な環境におかれながら発展がめざましいので全国的に注目されている。会員数は五百八十人におよび全商店の約八十五パーセントをしめそのほとんどが零細業者であるといえ全国的にも類例のない性格をもっているのではないかといわれている。そのため中小企業の育成指導が中心的な話題として取上げられているがまた温泉の街だけに接客婦の教養の向上にも努力しなければならないはかりでなく問題が山積しているので年間二百万円くらいの予算では思いあまって策およばずの現状であるという。吉田会頭の話＝発足してから一年になり軌道にのりだしたがこれからが困難だ。とにかく零細業者が多いのでどうしても補助を市にあおがなければならずこの点は認識を深めていただきたいと思っている。しかし会員が沢山おりそれがほとんど小中企業者であるということは自慢ができることであり通産局でもおどろき、そしてほめている。

暴漢の正体は

○…磐城前科五犯の男を頭に三人の暴漢が一升ビンを振りまわして花見の美人連に暴行しているという情報を得た勿来署では、全署員を召集して植田町八幡神社の境内に急行、三人の男に飛びかかつて組みつほぐれつの大格斗数十分におよび、とうとう逮捕した。これを見た見物人、やんやの拍手を浴びせたが、こりや不思議、三人の男は笑いながら警官の肩をたたいて「おめえあんまり本気になつてオレこかつつあいだなあ」とやれば「いや、あいすみませんでした」と警官があやまる始末。見物人は何がなんだかわからないでポカンとしたが、この犯人こそ同署の渡辺探偵長、佐藤 蓬出部長で訓練の一コマとわかり「なあんだあー」

小鳥の夫婦

○…平市田町のOバーで飼つている小鳥（名前はちよと忘れた）は非常に仲がいい。口バシをつつきながら可愛い声で囀ずるさまは正に好いて好かれた同志の新婚家庭にも似てほほえましくチビリ、チビリとウイスキーを飲みながらこれを眺める客は〝まつたくあてられるわい、オレもあんなに可愛いがられる女房が欲しい〟と羨やましそう。

住宅だ、住宅だ

○…四月から業務を始めることになつていた国民金融公庫平支所の窓口がなかなか開かない原因の一つは住宅、辞令が出ても住む家がなくてはどうにもならないと平市の関係者に住宅探しを依頼しているので東奔、西走して家探しに顯命。こんどいろいろの誘致には、まず住宅を見つけてかからなければちよと窓は開かないということを教えているようだ。

五十男の黒髪会

○…売頭会の向うをはつて五十男たちが黒髪会というのをつくろうという活発な動きが常磐市にあり話題になつている。規約草案の作成を委任されている同市向田の川瀬氏は「少しくらいハゲがあつても可とか、何本くらい白髪があつても可とかユーモラスな規約をつくりたいと努力しているが「なかなかむずかしい」と語つており売頭会より発展させなくてはと張切つているが審査は厳重に行われるそうであり入会者を求めている。

こりやあひどい

○…常磐市役所の穂積君、バカに鼻息が荒いので「マムシのキモでも食つたの」ときいたら、何んだか知らないが今朝からおかしいんだという。「病因をつきとめないで放つておくと後でとんでもないことになるよ」とおどかしたら、「病気にしてもらつては困りますまだボクは若いんだからね、モリモリ張切つてますよ」なんてボバイのようなマネをしたところ、同僚の与田君に「正に春だから気をつけな、それでなくともあんたの頭はおかしいんだから」といわれさすがの穂積君も青菜に塩。

なあーんだー

○…さうそうと常磐市の銀座通りを歩いていた公民館の津村君、一人のトテシヤンに呼びとめられ、キユーピットのおめぐりとばかり鼻の下を三寸も長くして近よつていつたところ件の女が「あのね…」なんていつてモジモジしているので余計うれしくなつてニヤニヤしたら「この前の晩」なんていわれはじめて気がつき逃けようとしたが万事休すつまり彼氏はハシゴ飲みした時の酒代を請求されたワケなのです。

横着になつたネコ

○…常磐市議の滝譲勝氏が市役所に「毒薬を忘れた」と入つてきたそして大井川庶務主任に「その毒薬はあんまりきかないようですよとにかくこのごろのねずみは利巧になつたから」といわれ沈思黙考していたが「そういえばこのごろのネコは横着になつたよ」とニヤリ。ところが「とにかく人は借金あるを忘れるネコはネズミをとるのを忘れるシーズンですから仕方ありません」なんていわれ「余計な格言をこしらえるヤツがいるからだ」とは一寸?。

今晩のラジオ

▼NHK第一

六・〇〇＝シンプン▽ちえのポスト
六・二五＝七つの誓い
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝話の泉
八・〇〇＝素人即席演芸会
八・三〇＝民謡をたずねて
九・〇五＝ニュース解説
九・一五＝相棒道中
九・四〇＝時の動き
一〇・一五＝音楽の宴

▼ラジオ福島

六・〇五＝空の向うに何がある
六・二五＝おつと危い
六・四〇＝競馬天狗
六・五〇＝音楽の小箱
七・一〇＝録音ニュース
七・一五＝人情夜話
七・三〇＝どうしましよう
八・〇〇＝一番寄席
八・三〇＝パンピタンアワー
九・〇〇＝浪曲
九・三〇＝ドクロ銭
九・四五＝キツコーツルアワー
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二五＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝時事解説
一一・二〇＝ラジオ演芸棚

今晩の映画

24日～30日

◆聚楽館　北極ものがたり　足長おじさん（六、五〇）
◆世界館　腰元行状記　浅太郎鴉（七、〇四）
◆平館　四人の誓い　統二等兵物語（六、五五）
◆ひかり座　首狩族　大陸の驚異　カービン銃第一号（六、五〇）
◆東映　怪力類人猿　雪崩（六、五〇）
◆民劇（25日迄）マスラオ派出夫（大会）　隠密七生記（七、〇〇）
◆第二いわき（24日まで）快剣士笑いの面　名君剣の舞（六、三〇）
◆綴映劇（24日まで）裏町のお嬢さん　早春（六、三〇）
◆小名浜東映（24日まで）快剣士笑の面　魔の最終列車（七、〇〇）
◆いわき座（24日まで）若い樹（失われた少年（六、三〇）
◆金星座（24日まで）早春　大当り男一代（六、三〇）

◎映画題名は上映順
◎は夜の部上映時間

ここに幸あり

平館

25日から

前篇　誘惑の都

明るい陽差しを浴びた冬の武蔵野の一角にある小住宅の朝　峰作造父娘が出勤するところである。内気な姉の京子は銀座のシスター洋裁店に勤め、父の勤める商事会社の専務佐野康夫から是非妻にと望まれている　妹の南子は明るいおきゃんなところがある近代娘で附近に住む中学校の教師松尾欣哉とは、幼ない時からの喧嘩友達であるが　松尾は南子を秘かに愛していた。しかし南子は勤め先の出版者に出資している自動車会社の社長の息子武田雄一と知り合い、彼の情熱的な態度に惹かれていつた。

松尾は自分の友人で静岡県の富士宮に住む画家の高見修一が妻に先立たれ、娘の信子をかかえて生活に困つているのを知り、東京に呼び寄せ、京子の店のスタイル・ブックの挿絵の仕事を紹介した。京子は仕事のことで高見と会うごとに高見父娘の情愛と、彼の素朴な人柄に好意を持つようになり、娘の信子も京子を本当の母親の如く慕うのであつた。しかし、父の作造は佐野との縁談をまとめようとして相変らず反対する。高見は京子を愛するが故に信子を連れて富士宮へ帰つてしまつた。京子は激しい心の動揺と過労がもとでついに病床に伏せる身となつた。そして、欣哉から、京子宛の高見の手紙を受けとると彼女は決意の色も濃く愛しき高見のもとへと病気の身で家を出た。やつとの思いで富士宮の高見の家にたどりつき、彼の胸に抱かれた京子は無理がたたつて、そのまま昏倒してしまつた。

美しき姉妹の哀歌

ようやくのことで南子を捜しあてた欣哉から姉京子の重態を知つた南子は、骨肉の情に飜然と目醒め欣哉とともに姉のもとへ急いだ雪降りしきる富士宮の或る病院の一室に重態の京子を囲んで不安そうに見守る高見、南子、欣哉、作造、佐野。そして神に一心に祈りを捧げる信子の可憐な姿もあつた。

作造は佐野との縁談を考えて、京子が高見と親しくすることに反対した。

一方妹の南子は武田を熱愛するようになり、ついに肉体までも許してしまつた。父や姉には会社の慰安旅行と偽つて武田と熱海へ行つたことが京子と欣哉に知れてしまい、京子は心配の余り南子を叱りつけ、欣哉は自分の失意を隠しに表へ飛び出した。

その頃、欣哉もまた暗澹たる姿で橋の上に佇み、失意の身を木枯らしにまかせていた。

一方髪を乱し、放心したように街から街を当てもなく彷徨い歩く南子、失意を胸に彼女はいずこへ

後篇　花咲く朝

その屈辱は純心な南子には余りにも強い衝撃であつた。作造や京子、欣哉の必死の捜索にも拘らず南子の行方は杳として二人の悴せを顧うのだつた。

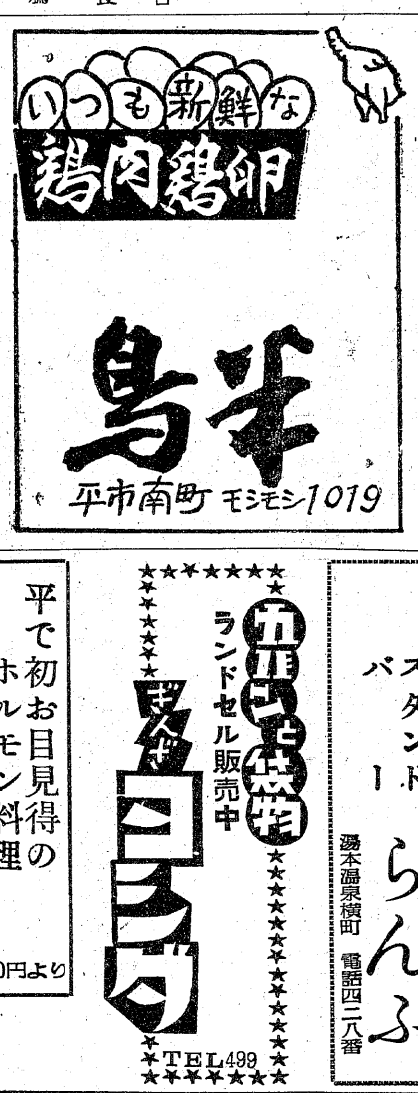
或る日南子は勤先の出版社の社長磯部保から武田に婚約者がいると聞いてとつさに反発はしてみたものの、内心一抹の不安を感じ早速武田のところを訪ねてみたが、そこで許婚の岩崎三千代と会つてしまい、初めて自分が騙されていたことを知つた。彼女は怒つて武田の頬に恨みの平手打ちを喰わすうにと京子とのことを許してくれるようにと頼むが、作造は佐野との縁雪も止み眩ゆいばかりに明るい陽差しがさし込む翌朝の病室、信子を中心に元気になつた京子と高見、傍らにはいまわしい過去から再び明るい人生にスタートした南子に寄り添う欣哉、幸福そうな娘たちを温く見守る作造の久しぶりに和やかな風景がみられた。ただ一人、今は京子の幸福を祈りつつ雪の道を帰つて行く佐野の顔には一抹の淋しさが浮んでいた。

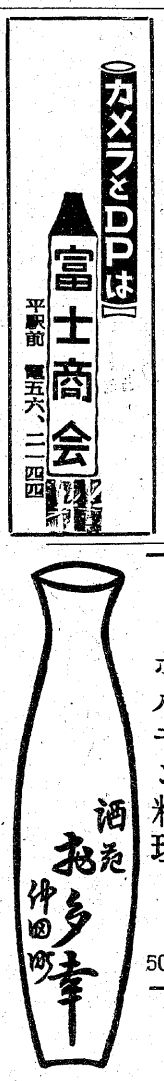
キャスト

峰作造　三津田　健
同京子　水原真知子
同南子　小山　明子
松尾欣哉　川喜多雄二
高見修　片山　明彦
同信子　シリヤ・ポール
佐野康夫　山内　明
武田雄一　佐竹　明夫
岩崎三千代　加賀ちか子

（文学座）

（新人）





平で初お目見得のホルモン料理
50円より

◎店内既に桜花の気分!!
◎当地第一の高尚なふん囲気!
スタンドバー らんぷ
湯本温泉横町　電話四二八番

和洋支食　お花見折詰、弁当承ります
皆様の食事の店　浅草食堂
◎女店員募集委細面談
平市田町並木通り　ひかり座隣
電話 九一一一番

御入進学、御卒業の贈物に
置時計・オルゴール・レコード
時計は
金光堂
本5. TEL195

木村の百貨店
一般建築材料・建具材・坑木
ベニヤ板類・銘木・秋田杉
津島松・木曽桧・ラワン材
米松・車輌材・枕木・電柱
株式会社 瀧口豊材木店
工場　平市福宮町電 五五九六〇二
自宅　平市六丁目電 二九六二
営場　平市五丁目電 一一六二